

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	◎	－	－	－
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策で空気清浄機、ステイホームの影響で調理器具の売上が良い。
	○	通信会社（職員）	お客様の様子	・外出自粛制限が解除され、延期となっていた契約や工事が徐々に動き出している。
	□	家電量販店（本部）	お客様の様子	・4月に比べて新型コロナウイルスの影響は落ち着いてきている。良くもなく悪くもなくといった印象を受ける。
	□	通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・一旦減るかにみえた来客数だが、それなりの人数をキープしている。
	□	美容室（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中は営業を自粛したが、その後、来客数は9割方戻りつつある。4月と比べて状況は良くなってきている。
	▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染防止の意識からか、来店頻度が大幅に減っている。来客数の減少に対し、客単価が追い付いていないため、やや売上が不足する傾向にある。
	▲	自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・大型店舗が休業した影響か、自粛疲れなのか、前月から比べると多少は来客数が増加している。しかし、商品購入も自粛ムードなのか、買上単価は低い。また、例年はゴールデンウィーク期間の前後に車のメンテナンスを要望する客が多いが、今年は皆無の状況である。
	▲	通信会社（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動を自粛しており、契約数が減少している。
	▲	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが原因で住宅展示場に来場者が少なく、客との打合せも延期となっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・唯一吸引力のある百貨店が食品フロア以外は休業となり、今まで体験したことがないほど街には人がいない。休業要請を受けなかった店舗や業種は休むわけにもいかず、かといって客は来店できない。短時間での外出をと、店の前に車を停めて来店すると、警察の駐車禁止の取締りにあつて罰金となる。三重苦が最近まで続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・大型デパートの全面休業に伴い、商店街の人通りも閑古鳥が鳴いている状態である。飲食関係はテイクアウトを試みているが、利用客は少ない。衣料関係は、従業員の解雇や自宅待機など先が読めない状況が続いている。収入減のため、組合の賦課金減免の申出があり、対応に苦慮している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・県の緊急事態宣言を受けて今月は休業している。その反面、ネット通販は2けた増と好調ではあるが、店頭販売を含めた前年比で考えると厳しい状況である。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	それ以外	・商談案件が激減し、客への訪問営業もできない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・いまだかつて例のない悪さである。売上ゼロの取引先がずらりと並んでいる。自粛要請の解除から少し動き出したが、新型コロナウイルス発生以前の状態には遠く及ばない。
×	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・現在は経済が回っておらず、ひどい状況が続いている。	
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・5月中旬に時短営業による営業再開後の売上高は前年比15%減で推移しているが、月全体では4月に続いて前年比70%減の見通しである。前半のゴールデンウィークや母の日などの稼ぎどきに臨時休業していたことが痛手である。	
×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・休業期間が2週間強あり、影響が非常に大きい。営業再開後は食品や化粧品、ギフトといった必需品は戻ってきているが、アパレルや高額商材の動きは鈍い。	

×	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による長期休業に加え、ウィズコロナといわれるように、長期にわたる様々な影響を考慮する必要がある、第2、第3の休業も考えると悪化している。再開直後は、上位顧客やさほど影響を受けていないとみられる人を中心に来客数が増加している。必需品などのまとめ買いが発生し、一旦復調したようにもみえるが、客の消費動向は非常に慎重で低価格志向であり、生活必需品やギフト以外の購入は少なくなっている。
×	スーパー（店長）	お客様の様子	・外食を控えているなかでも高単価の商品には手を出しにくい様子で、必要最低限の商品のみの購入になっている。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比の60%である。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・平日の昼間は回復基調ではあるが、平日の夜間と週末は落ち込んだままである。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響と今後の不透明感がある。
×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・4月より新型コロナウイルスの影響で、今までで一番前年比が割れている。特に夕方と週末の売上減が深刻で、全体では約15%減、週末においては約40%減となっている。この状況が4月のみならず5月も月末まで続き、回復の兆しが見えてこない。
×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・17時以降の来客数が前年にに対し激減している。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・この1か月間、ほとんどの店舗が閉店していて、売上はほぼゼロである。やっと先週くらいから再開できたが、まだ客足は戻ってこない。
×	衣料品専門店（店舗運営）	来客数の動き	・休業していたショッピングセンターが営業を再開したが、いまだ客足は戻っていない。
×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が大変少なくなっている。連休明けから客の来店を期待していたが、修理等も取りに行っても届けるという状態で、販売に対しての来店はほとんどない状況が続いている。
×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、日常生活を徐々に取戻しつつあるとはいえ、厳しい状況が続いている。
×	乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・政府や自治体からの自粛要請により外出を控える人が増え、店頭へ来る客が以前と比べて減少しており、販売への影響も顕著なものがある。
×	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・この市況において耐久消費財を取り扱う当社では確実に販売量が低下している。新築を含めた住宅関連の売上悪化の影響も少なくない。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく新型コロナウイルスで、ひどい状態である。売上は約8割減というところである。こんな状態がこれからも続くとしたら、どうにもならない。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・全国の緊急事態宣言を受け、生活必需品を取り扱う部分以外の休業を余儀なくされた。その後、宣言解除を受けて営業を再開したが、新型コロナウイルス発生以前の来店状況に戻るには相当の時間が掛かると考える。
×	高級レストラン（スタッフ）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により通常営業は休業し、弁当販売を行ったが、容器が不足して思ったような販売ができず、例年の10%ほどの売上である。
×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・店舗は休業中である。テイクアウトのみの営業を強いられている。
×	スナック（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で40日間ほど閉店していたが、4月29日より再開し、数人の来店があった。しかし、皆口々に外に出ない習慣がついたと言い、店にとってはマイナスの状況である。ただ、業種によっては忙しいところもあると聞いている。
×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・国の緊急事態宣言を受けた外出自粛があり、4月12日から営業を自粛している。5月は1日も営業できていない。
×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響でキャンセルが多く発生し、営業しても開店休業の状態である。現状の感染拡大状況を踏まえ、4月27日より休業している。
×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業していたが、5月25日からレストラン1店舗を昼のみ再開している。売上は以前の9割減のままでビジネス客が少なく、在宅勤務が続いている間の回復は見込めない。シニア層もほとんど動いていない。

	×	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により観光や出張など全ての旅行が中止や延期になっており、取扱額は前年の1割にも満たない状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・売上は80%激減している。5月14日に緊急事態宣言が解除となったが、皆まだ自粛を続けており、外出や通院を避けている。1日を通してタクシー利用はほとんどない。客待ちの時間は4～5時間が平均である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・県の定める緩和基準がステージ3からステージ1になったが、客の流れは微々たるもので、5月の売上は8割減少している。雇用調整助成金をもらい、3分の1は自宅待機になっているが、1人当たりの最低賃金の売上が確保できていない。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前月に続き、新型コロナウイルスの影響で、キャリア側の手続きの制限により端末販売などが伸びない。また、受付時間の短縮、店頭スタッフ数の減少により、受付枠自体を確保できない。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、観光旅行の動きが全く止まった状態で、現在は休業状態であり、大変悪い状況にある。
	×	パチンコ店（経理）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人）	来客数の動き	・4月中旬からの休業要請を受け、5月一杯臨時休館せざるを得ない状況である。5月は開業以来初めての売上ゼロだが、人件費等の固定費はほぼ通常どおりの支出のため、単月で大きな赤字となっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問合せは当然減っており、集客イベントも自粛のなか、打合せ中の客との面談のタイミングも遅れ遅れになっており、厳しい状況が続いている。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・客とアポイントが取れない状況である。商談の進め方を手探りしている。
	×	住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止における緊急事態宣言以降、客足が完全に止まったままである。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	司法書士	取引先の様子	・今のところは以前からの契約における売買や事業用融資、会社設立などが継続しており、さほど景気が悪くなっている感じはない。
	▲	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は徐々に自治体レベルで解除しつつあるが、外出自粛ムードは変わらないのか、外食ルート向けの受注はほとんど止まったままである。一方で小売用の受注は好調だが、全体では引き続き前年割れである。
	▲	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による自粛や経済活動の停滞により、個人消費のみならず企業業績にも大きな影響が出始めており、受注量も減少傾向にある。
	▲	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動ができず、受注ができなかったため、欧米、国内市場共に受注量が激減している。
	▲	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話では法人客も個人客も、時節柄なかなか面談ができず、情報が聞けないということである。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、衣料、非衣料共に非常に悪い。
	×	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は3月時点では限定的な状態だったが、4月以降は本格的に小売、卸売、メーカーの順で悪影響が広がっている。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・土木工事業では変化がみられないが、取引のある旅行者やホテル業者、飲食業者は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、閑古鳥が鳴いて商売にならない状況である。
	×	建設業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	輸送業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響がある。
	×	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業活動は限定的でほぼ停止状態である。今月の売上高は、前年度に受注した当月の工事予定案件によるもので、前年同月比で30%程度である。
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響から売上が大幅減収となり、融資の相談が相次いでいる。5月に入り民間金融機関で無利子の制度融資が取扱開始となり、相談や申込みが相次いでおり、中小や零細企業の資金繰り悪化や先行き不透明感を表している。

	×	税理士（所長）	取引先の様子	・当所の関係先の中でも、観光バスなどの観光業あるいは飲食店関係など、いわゆる接客サービスを伴う仕事を中心にして、売上が非常に落ちている。また、製造業や建設工事関係も一部の施工予定の月がずれ、先送りされていくという形で、新型コロナウイルスの影響がじわじわと出ている。非常に不安が続いている状態である。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	—	—	—
	▲	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・有効求人倍率もかなり低下してきており、求職者が職場探しに苦労している。
	▲	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染を恐れ、新たに職に就こうという意欲が減退していると推測している。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・1回の掲載で、掲載件数が4割ほど減っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・各企業とも業種を問わず、まだ本格稼働していない様子である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが止まり、あらゆる経済活動が停止したことを実感している。求人に限らず各種広告が激減し、今後の回復も見通せない状況が続くとみている。
	×	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・4月の有効求人倍率は1.48倍で、前年同月比0.50ポイントの大幅な減少となった。産業別の前年同月比では、製造業で61.7%減、卸売、小売業で37.4%減、宿泊業、飲食業で45.6%減、生活関連サービス、娯楽業で59.5%減となっている。
×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・休業相談の企業が前月に引き続き多い。また、人員整理を実施する企業が増えている。	
×	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、新しい求人依頼がほぼない状況が続いている。	